

第 1 回架け橋大賞 応募要領 Ver.2

1. 目的

日本では人口の高齢化に伴いがんの罹患患者数は増加を続けており、がん患者の 3 人に 1 人は就労可能年齢で罹患しています。一方、医療の発展に伴いがんによる生存率は上昇しています。これらを背景として、がんを患いながら治療と就労の両立を望む患者は増加する傾向にあるものの、がんやがんの治療を受けながら就労を続けることへの社会や職場での理解はまだ十分ではなく、がんに関わらず、就労継続を望みながら離職に追い込まれる人が少なくありません。また、多くの事業場においては、がん等の疾患を抱えた従業員の治療と就労の両立支援への対応に苦慮していることが明らかになっています。

このような状況に対し、労働者自身ばかりでなく、事業場、医療機関、地域の支援機関等の関係者が必要に応じて連携して労働者の両立を支えることの重要性が指摘されており、このような連携強化の必要性は今年 2 月に厚生労働省より発表されたがん等の疾患を抱える労働者の治療と職業生活の両立支援ガイドライン（「事業場における治療と職業生活の両立支援のためのガイドライン」）においても両立支援の留意事項として挙げられています。

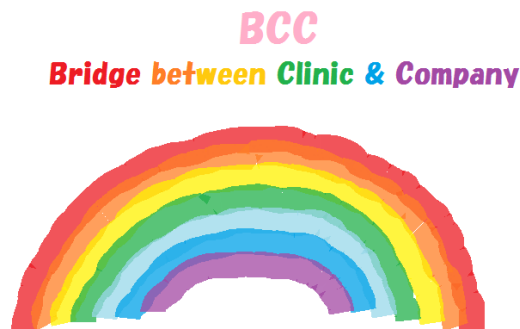
そこで、BCC*では、がんの治療と就労の両立支援に関し、特に「連携」という観点で、良い取り組みを実施している企業や医療機関および地域の支援機関、あるいはその機関内の連携をペアで表彰することを企画いたしました。この表彰により、その取り組みを広く周知させ、社会の成熟促進を目指します。同時にごがんや他の疾病に罹患した就労者やその家族、市民に治療と就労の両立問題への知識普及や啓発を図ることになります。また、本研究の更なる推進につながり、企業や社会に開かれた大学の追及につながります。

*BCC：労災疾病臨床研究事業費補助金「主治医と産業医の連携に関する有効な手法の提案に関する研究」（研究代表者：横山和仁教授）の研究分担者（がんの両立支援）である齊藤光江教授の研究グループ名 Bridge between Clinic & Company（がん医療と職場の架け橋）の略語

2. 表彰されるメリット

BCC のホームページ等で、事業場名や取り組み内容等を社会に公表いたします。

なお、表彰される企業や医療機関および地域支援機関等の方々には、「がんと就労の両立支援を連携という観点で良い取り組みを実施している企業や医療機関および地域支援機関」の証として BCC のロゴマークの入った賞状と楯を授与いたします。



3. 応募部門

がんの治療と就労の両立支援に関し、特に「連携」という観点で、以下の3部門について、良い取り組みを実施している企業や医療機関および地域支援機関、あるいはその機関内の連携をペアで表彰いたします。なお、連携先が複数に及ぶ場合は、「最初に取り組んだ連携先」あるいは「現在最も意欲的に取り組んでいる連携先」などとペアを組み応募ください。共に応募する連携先を絞れない場合は、複数機関との連携についてご応募下さい（この場合には、「1 機関：複数機関」（例えば 1 つの NPO：3 つの医療機関）を一組と考え審査させていただきます）。

- ①部門 C2C (Company to Clinic) : 黄線部 (企業・産業医と医療機関の連携)
- ②部門 CO (Company) : 青丸内と青線部 (企業内の連携 (産業医と人事担当者との連携等)、企業と地域支援機関の連携)
- ③部門 CL (Clinic) : 緑丸内、および緑線部 (医療機関内の連携 (病院内での多職種間の連携)、医療機関と地域支援機関の連携 (病院と社会保険労務士との連携等))



連携のイメージ図

4. 応募要件

- ・上記3部門 (①部門 C2C、②部門 CO、③部門 CL) に該当する企業や医療機関および地域支援機関、あるいはその中での部署や職種等のペア申請代表者2名 (連携先が複数に及ぶ場合はその数に応じて各1名) が本企画の趣旨に賛同され、申請に同意されていること
- ・国籍は問いませんが、日本国内にも拠点がある施設や部署であること
- ・一次審査通過した場合、最終審査 (2016年11月23日) のプレゼンテーションや表彰式に参加できること (申請者と発表者は異なっていても可)
- ・ヒアリングに応じられること
- ・プレスリリースで公開できる内容であること

5. 応募方法

1) BCC ホームページより応募用紙をダウンロードして下さい

Bridge between Clinic & Company (がん医療と職場の架け橋)、URL : <https://teambcc.jp/>

2) 応募用紙に必要事項をご記入下さい

3) 記入した応募用紙を郵送にて下記へお送りください (2016年9月30日必着)

〒113-8421 東京都文京区本郷 2-1-1

順天堂大学医学部 乳腺・内分泌外科 「BCC 第1回架け橋大賞」事務局 行

6. 審査方法、評価基準

1) 審査方法

有識者、研究者、BCC メンバー (利害関係のない委員) らから構成される審査委員会による審査 (一次審査、最終審査) を行います。

2) 評価基準

がんの治療と就労の両立支援に関し、「連携」という観点での取り組みを審査します。特に、『連携の目的』、『連携の協力員・メンバー』、『連携の方法 (連携の具体的な取り組み内容)』、『連携の結果 (がん患者・がんに罹患した従業員への効果)』、『連携の目的の達成度とその自己評価』を重視して評価いたします。

最終審査については、一次審査終了後に改めて BCC ホームページ上に掲載いたします。

7. 結果発表

1) 一次審査

2016年10月13日 (木) 正午に BCC ホームページ上で発表いたします。

Bridge between Clinic & Company (がん医療と職場の架け橋)、URL : <https://teambcc.jp/>

2) 最終審査

2016年11月23日 (水) に実施される発表会の中で、一次審査を通過した各ペアの方々に発表をしていただき、審査をして、架け橋大賞 (各部門) を決定いたします。

8. 実施計画

時期	内容
2016年6月	BCC のホームページにて告知を開始
2016年8月上旬	応募要領を発表 (BCC の HP にて公開)、部門別 (3部門) に募集
8月上旬～9月30日	応募期間
10月上旬	一次審査 (書類選考)
10月中旬	表彰企業・医療機関・地域支援機関等の決定、連絡 (11月23日にプレゼン、あるいは上映するビデオの作成を依頼)
11月23日	一次審査で選ばれたチームの発表会、 最終審査 (この間 BCC メンバーによるその活動内容の発表)、 最終審査結果発表、講評と表彰式

9. 注意・確認事項

一次審査結果を BCC のホームページで、最終審査結果は BCC のホームページおよび共催機関の団体内広報、プレスリリース等にて発表させていただく予定です。応募用紙に記載される企業・医療機関・地域支援機関等の名称、特定の部署・職種名は公表されてもよい名称をお書き下さい。

10. お問い合わせ先

〒113-8421 東京都文京区本郷 2-1-1 順天堂大学医学部 乳腺・内分泌外科

「BCC 第 1 回架け橋大賞」事務局

E-mail : teambcc@juntendo.ac.jp